種名	<p><u>バ</u> <u>ン</u></p> <p><u>Gallinula chloropus</u></p>
	分類	ツル目 クイナ科											
特徴	黒い体にくちばしの赤と黄色、脇と下尾筒の白色が目立つクイナ類。全世界の温帯から熱帯にかけて広く分布する。日本には夏鳥として渡来し、関東地方以西のものは冬期も残ることが多い。狩猟鳥。												
生活	湖沼、川、水田などを好み、開けた場所にもよく出てきて活動する。人影や物音に敏感で物陰に逃げ隠れするが、クイナほど警戒心は強くない。繁殖期には水辺の草やアシ原などに枯れ草を積み上げて巣を作り、5～12 個の卵を産む。雛は黒い綿羽におおわれていて、くちばしは親と同様、先が黄色くて基部が赤い。												
声	昼間、水面を泳ぎながら「クルルックルルッ」とか「キュックキュック」と鳴き交わすことが多い。ディスプレイの時には「キュルクキュルクキュルク」とテンポを速めて鳴き、時々「キュッキュッ」と鳴くことがある。												
見分け方	全身が黒くオオバンに似るが、額がバンでは赤いのにに対してオオバンでは白いことで識別できる。バンの若鳥は脇に白い部分があることでわかる。												
時期：寒地山地 ：暖地平地	(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	-	-	-
	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
その他	全長(L) 32cm 翼開長(W) 52cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													